

花巻市文化会館運営審議会会議録

1 開催日時

令和4年8月22日（月）午前10時～午前11時10分

2 開催場所

花巻市文化会館 第7、8会議室

3 出席者

(1) 委員 8名（欠席2名）

多田貢委員（会長）、佐々木和久委員（副会長）、菊池房江委員、高橋トシ委員、高橋信也委員、佐藤洋子委員、及川有子委員、猿舘祐子委員

(2) 事務局（花巻市文化会館）4名

市川清志生涯学習部長、佐々木正晴生涯学習課長、鈴木秀宜館長、柳原美香上席主査

3 議題（審議事項）

報告事項 (1) 令和3年度花巻市文化会館の運営状況について

(2) 令和4年度花巻市文化会館の運営状況（途中経過）について

4 議事録

1. 開会

[佐々木生涯学習課長]

- ・ただ今から、花巻市文化会館運営審議会を開会いたします。
- ・議事に入ります前に、本日の審議会につきましては、委員の半数以上の方のご出席をいただいておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。
- ・それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

2. 挨拶

[多田会長]

- ・お忙しい中、週の初めからお集まりいただきましてありがとうございます。
- ・今年度初めての文化会館運営審議会ということで皆さんにご審議いただくわけですが、昨日も報道がありましたが、新型コロナの感染者数が2千人を超えて、さらに花巻市を管轄する中部保健所管内で600人以上700人近くの感染者が出ているという状況は皆さんご存じかと思えます。
- ・この文化会館というところが舞台芸術を中心とした活動を支えていく、広めていくという役割があると思いますが、人と人が一緒になって作りあげるものを大勢のお客様で鑑賞

して感動するというのが、この場所の一番の役割ではないかというところで、このコロナのせいで、ステージでの発表も制約があり、客席での鑑賞も制約がある状況でここ2年半ほど続いてきている。

- ・その中で、どういった運営をしていったらいいのかというところは、実際に運営している、館長以下の皆さんは苦心なさっていると思います。
- ・そういった中での対応の在り方であったり、今日は報告という形になると思いますけど、皆さんの中で討議・協議いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

[市川生涯学習部長]

- ・本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
- ・会長さんもいま言われたとおり、コロナウイルスもすぐ収まるのかなと思っておったところですが、まったく増えてくるばかりという中で、文化会館は特にこういう施設でありまして、なかなか文化芸術活動もどのようにやっていけばいいかと悩みながらやっているところがございます。
- ・その中でやはり、今回は、昨年度と今年度の事業についてもご意見をいただければと思っておりますけれども、小・中学校、高校の鑑賞事業などもぎりぎりのところでやってきておりました。
- ・大きな事業としても、50%の人数制限をして1つずつ席を離して事業をやっておりますが、大ホールもご覧いただいて分かると思いますが、扇風機を回しながら換気したりなど職員が工夫してやっております。
- ・特に、コロナの感染者が毎日増えてたり減ったりしている状況を踏まえ、来週、再来週の事業はどうすればいいだろうとか、館長ほか職員が悩みながら、業者とも連絡を取りながら、市役所とも話をしながら、本当に苦勞してやっている。
- ・例年のとおり同じ事業をやっていくというのは割とやりやすい訳ですけども、周りの状況を見ながら変えていくというところで職員は苦勞していると思っております。
- ・そうした中でも、だいぶ事業を進めてきているという評価を受けてきているところでありまして、「HALL DE ピアノ」とかですね、先日の仲道郁代さんのピアノリサイタルも助成金をいただいて安く開催したりなど、頑張っているとは思っておりますが、まだまだのところもございますので、皆様からの意見をいただければと思っております。
- ・大きな改修事業としては、大ホールを運営できないというのは問題があるということで、照明と音響をまず進めたところでありました。
- ・照明は終わりましたが、音響については設計が今年度終わりました、これから9月の議会にかけて、認められれば9月から来年にかけて音響工事をしたいと思っております。
- ・これも約3億の事業で、近年にない大きい事業です。
- ・これまで修理してこなかったという課題があるわけですが、皆さんからの意見を踏まえながら色々改修をしてきております。
- ・まだまだ改修したいところがいっぱいあるのですが、その辺りも工夫をしながら、やっ

てきているところなので、皆さんからご意見をいただければと思っております。今日はよろしくお願ひします。

[佐々木生涯学習課長]

- ・それでは、会議を進めてまいります。
- ・議事の進行は、文化会館管理規則第15条2項の規定により多田会長にお願いをしたいと思います。よろしくお願ひします。

[議長 多田会長]

- ・それでは改めまして、議事進行の間、議長を務めますのでご協力をお願いします。
- ・それではお手元の資料、報告事項ということで令和3年度花巻市文化会館の運営状況について説明をいただきます。

[鈴木館長]

- ・資料に基づき「(1)令和3年度花巻市文化会館の運営状況について」を説明

[議長 多田会長]

- ・いま(1)の「令和3年度花巻市文化会館の運営状況について」事務局から説明がありましたが、皆さんの方からご意見・ご質問ございますか。
- ・質問等がなければ、「令和3年度花巻市文化会館の運営状況について」を報告のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

[議長 多田会長]

- ・続きまして「(2)令和4年度の花巻市文化会館の運営状況(途中経過)について」説明をお願いします。

[鈴木館長]

- ・資料に基づき「(2)令和4年度の花巻市文化会館の運営状況(途中経過)について」を説明

[議長 多田会長]

- ・今年度、まだ半年も経っていないわけですが、これまでの状況を報告いただきました。皆さんの方からご意見・ご質問ございますでしょうか。

[菊池委員]

- ・質問というよりも意見なのですが、7月10日にインリーチ公演されたようなので、

今、アウトリーチは色々な形で、出前授業のような形、出前公演のような形のものがあちこちで行われている中ですが、逆に文化会館の開催したインリーチ公演というのはすごく魅力的な企画だと思います。

- ・今はコロナで、接触・接近しての公演が難しくなっているときに、文化会館の大ホールは広いので、座席を1つずつ開けたりしながらやれることをやっている。非常に良い企画で目の付け所が素晴らしいと思いました。

- ・「今はコロナだからできない」と諦めないで、こういう会館があるので、移動してでも聞いてもらいたいという情熱があってこそいい形ができてくると思うので、これからも良い形をどんどん作ってもらいたいです。

- ・3年ぶりで団体鑑賞事業が開催したということですが、小中学校まではあるのですが高校生までの全部の団体鑑賞を市として行っている市町村というのはあまりないんですよ。

- ・小・中までの団体鑑賞は、盛岡市や奥州市とかあるのですが、私が聞く限りでは、小学校、中学校、高校まで一貫して、同じ会場に移動してきて授業の一環として、というのはとても大事なことです。

- ・文化会館が芸術文化を発信していく大事な場所として、普段から足を運ばないと、そこに親しみもないし、そこに来たいという意欲も湧いてこない。

- ・教育委員会や行政と一緒に企画をして、小中高生の子供たちに積極的に足を運んでいただいて、良いもの鑑賞してもらって、感動を共有して、自分たちも良いもの出会いたいという意欲を感じさせていくということは、大事なことだと思うので、もしこのままウィズコロナが続いたときは、このインリーチ公演というのはずっと念頭に置いて企画していくのは大事なことだと思いますのでよろしくお願いします。

[鈴木館長]

- ・ありがとうございます。今回は実はインリーチ公演まで含めた想定を当初していなかったものですから、急きよ、やはり何かをしていただきたいなということでご相談をさせていただきました。

- ・鼓童というのは太鼓の団体なので、移動が大変だということもあって、会館での公演はどうでしょうと。確かに、見る場所が密集してしまうといけないので、文化会館のほうがやりやすいというのもあったのですが。

- ・そういうわけで一番近い若葉小学校にお話しさせていただいたところでもございました。

- ・もちろん、今後ずっと若葉小学校に話をしていくことではないですので、色々な学校に声掛けをして来ていただく。そのためには、移動手段を確保しなければならない。交通費やバスを出すとか、そういったところまで確保して行って、若葉小学校だけでなく、例えば大迫や石鳥谷、東和の学校にも、こういった公演があれば見に来てくださいといったことを来年度に向けて話をしていければいいなと考えております。もちろん、学校に行けるようになれば、学校の体育館での公演もやっていきたいと思っております。

- ・小学校の団体鑑賞の際に、学校の先生方のほうから参加する学校ごとトイレを指定したらどうかという意見がありました。もしもの時のために、子どもたちが他校の児童と混ざ

らないようにしたいということでした。

・席はもちろんエリアを分けています。動線も想定したうえで規制退場など、密にならないように工夫はしていましたが、トイレもというご意見をいただいて、小学校の団体鑑賞の際にはこちらの対応ができなかったのですが、学校の先生方が自主的に使用するトイレを指定して、利用されていました。

・それを踏まえて中学校の公演の際には、トイレの場所を踏まえた座席の割り振りをすることで、安心してきていただけるのかなということに対応をさせていただきました。

[議長 多田会長]

・ありがとうございます。

・私からよろしいですか。今年度の自主事業の状況については資料から大体わかったのですが、貸館の方、大ホールの使用状況は戻りつつあるのでしょうか。

[鈴木館長]

・大ホールの利用については、昨年度に比べて戻ってきていると思っております。

・ただ団体によっては、コロナの感染状況を見ながらキャンセルというののもいまだにあります。

・全般で見ますと、会館の利用は戻ってきていると思っております。

・ただ、50%制限をしておりますので、そこが利用する方々にとってはネックになるかと思えます。

・会議室であれば、利用料の金額的にもそれほど高額ではないので、利用制限下でも1室利用するところを2室に増やして対応していただいているかと思えます。

・大ホールになってくると、500人なのか1000人なのかは大きな制約になっていると認識しています。

・それでも、みなさん工夫しながら利用していただいている。年々利用者が戻ってきているなど感じています。

[議長 多田会長]

・今度、花巻まつりも開催されますし、色々な行事が3年ぶりに戻ってきている状況ですが、この座席半分というのは、色々な都市の例を見ても100%で行っている。

・これは、市の決め方次第なので仕方ないと思いますが。

・ほかにはありませんか。

[佐藤委員]

・委員というか、利用団体としての立場で申し上げますが、11月に映画上映会を予定しています。11月の施設の利用制限の見通しをわかる範囲で教えていただきたい。

[市川生涯学習部長]

- ・今、お話しできる範囲でということになりますが、国も県も、以前に比べると緊急事態宣言を出そうとか、まん延防止地域を指定するという動きはないというのはご存知のとおりと思います。
- ・感染状況としては去年より多い訳ですが、こういう中で経済活動などを普通の暮らしに戻していこうという動きがあります。
- ・その中で、あくまで今の状況であればということになりますが、よほどのことがなければこれから制限を強くして、文化会館を休館するというようなことはないと思っています。
- ・館の運営については、50%制限という運営をしておりますが、これもいずれは制限をないようにしていきたいと考えておりますが、今まさに感染者数が最大値になっているような状況ですから、ある程度感染者の状況が落ち着いてくるのを見て判断するということになると思います。
- ・花巻市主催事業は50%を基本とすべきかと今は考えております。ただ、主催者が別で貸館利用の場合には、感染対策をしっかりと行うという前提で、主催者の判断で100%で開催しても良いというふうになっていくのではないかなと思っています。
- ・資料の2ページをご覧くださいれば令和3年度の状況が分かるのですが、8月14日のお盆の時期に、感染が拡大して一気に閉館した。この時期が一番大変でした。
- ・そうした中で、10月に入ると下がってきております。今年度も同じように推移していくのではないかと推測はしておりますが、まだわかりません。
- ・このコロナというのは、1年で終わるだろうと思っていたものが3年も続いている訳ですから、こういう状況の中で、お盆で増えてきて、9月末の連休を過ぎたあたりから減ってきているようなので、今年もほぼ同じような動きをするんじゃないかと思うんです。正月になるとまた増えて、3月頃にも増えて、次はお盆に増える。
- ・基本的に国も県も、普段の暮らしに戻していきたいと思いますという考えです。そういう中で、花巻市としてもこれ以上レベルを上げるというのは考えていないというふうに私はとらえておりました。

[議長 多田会長]

- ・ありがとうございました。

[佐藤委員]

- ・そういうことを直にお聞きしたくて質問しました。
- ・この間、花巻まつりの花巻ばやしの踊りの指導の日も、観光課の課長さんに「去年みたいに中止になるなんてないですよ」とお聞きしたところ「それはありません」とおっしゃっていましたので、そうではないかなと思いましたが。少し安心しました。

[議長 多田会長]

- ・良い方向に向くように、それぞれが注意するしかないということになると思います。

[高橋委員]

- ・先ほど部長さんが、主催者に任せると言われたんですけど、それでもいいんですか。

[市川生涯学習部長]

- ・今の段階ではまだ50%の制限をお願いしています。
- ・その制限を100%にすることについては、国の基準もそうってきているので、スポーツでも芸術文化活動でもそうですが、ガイドラインができてきているので、主催者のやり方にお任せして100%もよしというふうにしたいなと私は考えています。
- ・それがいつからかというのは、はっきり言えません。

[議長 多田会長]

- ・客席は50%から100%になったとして、客席でじっと座って、声を出さないとかというのは客席の方々には守られますけども、楽屋に100人とか200人とか入られて、出演者側としては、かなり動いたり声を出したりしなければならぬので、逆にその出演者側への注意喚起というのも主催者としては必要になるんじゃないかと思います。私の個人的な意見です。
- ・ほかにありませんか。
- ・それでは、「(2) 令和4年度の花巻市文化会館の運営状況（途中経過）について」承認することよろしいですか。

(異議なしの声)

[議長 多田会長]

- ・用意されている議題は以上でございます。
- ・これで議事を終了させていただきます。ありがとうございました。

[佐々木生涯学習課長]

- ・多田会長ありがとうございました。
- ・「その他」ということで、事務局から説明します。

[鈴木館長]

- ・これまで皆さまからいただいたご意見の中で、色々課題を頂戴しておりました。
- ・それに対しての現在の状況を説明させていただきます。
- ・トイレの洋式化のお話をだいぶ前からいただいているかと思いますが、これに関しましては、一度に全部というのはやはり難しいんですけども、部分的にでも来年度から手を付けて行ければいいかなと今は考えておりますので、優先順位を決めて優先されるどころか

ら、例えば1階のエントランスとか、大ホールのホワイエとか、というところで対応していきたいと考えているという状況です。

- ・楽屋の中のモニターが見えにくいとのお話を頂戴しております。モニターの交換ができるのかというのを検討したところ、モニターの交換だけではできないということが分かりました。システム全体を入れ替えなくてはならないということで、物が古いということもあって、テレビ画面を交換して差し込みを差し替えれば良いかという、残念ながらそうではないということでした。

- ・事務室の中に、モニターを制御する盤があるのですが、そこから全部入れ替えをすることがおそらく必要じゃないか。その入れ替えも含めて想定してその盤を直して、そのあとにモニターなどの更新をすることが必要だということなので、ちょっと時間がかかるということが分かりました。引き続き、課題だと思っておりますので検討して参ります。

- ・それから、楽屋が使いにくい、バリアフリーになっていないということとかもご意見をいただいております。これは少し時間がかかるかと思えますけれども、今後30年使い続けられるように長寿命化をするというお話を今までにさせていただいておりますけれども、改修案の検討を今進めようとしています。

- ・具体的には、今年度、全国公立文化施設協会という公立の文化施設が加入している協会のほうで、文化庁の支援を受けて専門家を派遣するという事業があり、その専門家派遣事業に手を挙げて今年採択されております。

- ・日大の建築の先生が来ていただくことで、そういった先生に相談をしながら、検討してまいります。課題は既に並んでおります。その中に、もちろんトイレもありますし、楽屋が使いにくい、改修をしなければいけないというのもあります。

- ・そういったものを全部含めた中で、何を優先していくのが良いのか、そういった意見をもらおうということで、来年度に反映できるかどうか、時期的に厳しくなっているのですが、そういった意見をもらって、今後の改修案を考えていきたいと思っております。

- ・その中で、先ほども言ったトイレの洋式化については、既に現時点で優先するものとして考えておりますので、来年には直りますと今は申し上げられませんが、少しずつ改修していきたいと思えます。

- ・階段のカーペットがみすぼらしくなってしまうということがありました。時期はわかりませんが張り替えられるよう検討してまいります。

- ・文化会館ホームページのスマホ対応ということでご意見をいただいておりますが、今はスマホでも見れるように見やすく対応しております。

- ・チケットのインターネット販売を始めた際に、座席が選べないということでご意見をいただいておりますが、今は選べるようになっておりますので、改善はしております。

[佐々木生涯学習課長]

- ・この件で何かありますか。

[多田会長]

・これから30年長寿命化するというので、30年後までを見据えて、少なくとも今の他館のレベルまで上げたうえで、その先20年、30年を見据えた計画にするということが必要だと思います。

・若葉町からの道路が広がって、ここへのアクセスは幾らか楽になった。安全に駐車場まで入って来られるようになったと思います。

・文化会館の駐車場と図書館駐車場のエリア区分について、我々一般市民からすると、この施設の駐車場だというよりも市の駐車場であるという認識があります。あまりにも「ここは図書館の駐車場なので文化会館利用者は停めないで」という表示とか考え方はどうなのかなと思います。

[鈴木館長]

・一番は、皆さんお分かりと思いますが、図書館の駐車場が埋まってしまって、図書館利用者の方が停められないという事になったときに、私たちとしては困るものですから、文化会館利用者は、文化会館の大駐車場をご利用くださいとご案内をしています。

・図書館が休館日だったり、空いている時には停めてもいいですよというお話をしたい気持ちはあるのですが、そのご案内が日々変わってしまうと「この間は良かったのに」ということが起きてしまって余計に混乱するかなと思いますので、一貫して文化会館の利用者は大駐車場へというご案内をさせていただいております。

・そういうわけで、文化会館利用者が明らかに図書館の駐車場を埋めているということが分かった場合には、大駐車場へのご移動をお願いしているのが現状です。

[多田会長]

・イメージの問題かと思いますが、市民体育館と市役所新館の駐車場は分けはしておらず、市の駐車場として使っていますよね。

[鈴木館長]

・図書館に寄せられた市民の声として、図書館利用者が図書館前に停められないと言っていると図書館の職員から聞きました。

・そういった訳で、文化会館利用者は大駐車場を使うということで今までもきておりますので、今後もこのように使用していくのかなと思っております。

4. 閉会

[佐々木生涯学習課長]

・以上をもちまして、令和4年度第1回花巻市文化会館運営審議会を閉会いたします。皆さん、本日はお忙しいところありがとうございました。